

令和6年度第1回小牧市交通安全・防犯対策協議会 議事録

日 時	令和6年7月17日(水) 午前10時～午前11時35分
場 所	小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>◎中村 明 交通安全協会小牧支部 ○林 泰治 安全なまちづくり推進指導員 落合 俊克 小牧安全運転管理協議会 船橋 嘉成 小牧市交通委員連絡協議会 春井 ひとみ 小牧防犯協会連合会 長谷川 幸彦 小牧工場事業場防犯協会 加藤 隆明 小牧少年補導委員会 飯田 千里 小牧市保護区保護司会 田口 英樹 小牧市生徒指導連絡協議会 森 猛 小牧市区長会連合会 梶田 久美子 小牧市女性の会 落合 光江 小牧市更生保護女性会 澤木 厚司 小牧市社会福祉協議会 杉山 光次 小牧商工会議所 服部 勲 小牧市老人クラブ連合会 林 正郎 公募委員 井上 司 公募委員 牧野 裕人 公募委員</p> <p>※ ◎会長、○副会長</p> <p>【事務局】</p> <p>入江 慎介 市民生活部長 落合 健一 市民生活部次長 伊藤 雅彦 市民安全課長 山田 幸司 市民安全課主幹 林 敬将 市民安全課交通防犯係主査</p> <p>【小牧警察署】</p> <p>掛布 佳男 交通課長 丹羽 琢磨 生活安全課長</p>
欠席者	谷口 忠良 小牧小中学校PTA連絡協議会
傍聴者	0名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料：協議事項及び報告事項

主な内容

あいさつ（中村会長）

1 協議事項

(1) 副会長の選出について

立候補、推薦がなく、事務局の提案により安全なまちづくり推進指導員 林 泰治委員が選出された。

(2) 交通安全課題提案型実証事業について

- ・事務局より資料を用いて説明
- ・質疑、意見は以下のとおり

（林副会長）

とても良い取組ですが、委員が登録してデータを活用できるようにしてほしい。横展開することで、委員の目線でも気づきなどがある。

（林委員）

一時停止の規制のない箇所も含めて検証しているのかが課題に挙げられる。歩行者、自転車は登録がなく、ドライバーのみの情報ということは理解した。

ふらっとみなみ北側の交差点は、歩車分離となっており、ドライバーが間違いやすく、大変危険である。歩行者は一回の青信号で、スクランブル交差点のように斜めに渡ることができず、大幅に待たなければならない。今後このような交差点が増えていくのかを含め、教えてほしい。

（掛布交通課長）

ふらっとみなみの交差点は県内でも珍しい形式で、早朝の子どもたちの通学路になっており、一度に渡り切れないなど課題があるため、本部ともスクランブル形式を含め、検討している。自転車の場合、横断歩道を渡っても違反にはならず、車道を通行する場合は車と同じ正面の信号に従うことになる。歩行者・自転車・ドライバーに配慮した形態を検討したい。

（森委員）

みどり台中央の交差点で事故が発生し、区民からも一時停止を守らない車が多いという意見が出ており、取締り要望も行っている。止まれの箇所の路面標示等を含め、検討してほしい。

（中村会長）

個別の交差点等の要望は関係機関に直接お願いするとともに、協議事項の交通安全課題提案型実証事業については、進めてほしい。

2 報告事項

(1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について

(掛布交通課長)

小牧市の交通事故情勢について説明する。小牧市内の人身交通事故は、6月末時点で昨年より44件多い295件となっており、愛知県内では6月末でマイナス55件となっているため、小牧市内は危機的状況といえる。

当事者別では自動車の事故によるケガが突出して多いが、続いて自転車も多くなっており、自転車が全体の29.4%を占め、県内平均よりも高い傾向にある。

自転車の事故の中で出会頭が多く、100名中50名となっており、次に右左折時の事故で37名となっている。コンビニや会社の駐車場から左折で出ると、右から来る車が多く、右側に意識がいき、左側から来る車と衝突してしまうことがある。

信号交差点の右左折時に横断歩道を通行する場合、ドライバーからすると後ろから来る自転車に気づかず、巻き込んでしまうケースがある。ドライバー側の不注意と、自転車も当然車が停止するだろうという思い込みから、衝突してしまうので、双方の油断・思い込みが招く事故となる。

3点お願いがあり、1点目は自転車の事故の中で80%以上がヘルメットを着用していないケースでの事故となる。ヘルメットの着用が努力義務となっており、頭部を路面等に打ち付けて、重大なケガに繋がる。ヘルメットの着用を呼び掛けてほしい。2点目は7月は飲酒運転による交通事故が多くなる傾向にあり、気候が暑くなり、飲酒の機会が増えて、コンビニの駐車場で飲酒し、そのまま運転するケースもあるため、見かけたら即座に通報してほしい。コンビニにも飲酒運転撲滅のポスターの設置依頼をしている。3点目は見通しの悪い横断歩道等の事故が多いので、歩行者は車が止まると思い込まず、ドライバーは常に歩行者がいる可能性があると思い、十分に注意して通行してほしい。

(丹羽生活安全課長)

小牧市内の犯罪情勢について説明する。

刑法犯認知件数は410件。前年度同様の推移となっており、住宅対象侵入盗が12件で、昨年度より大幅に増えており、約16%が無施錠で入られている。自動車関連窃盗認知件数は無施錠の車上狙いが56%となっており、犯人が物色して無施錠の車両を狙っている可能性が高い。自転車の盗難が多く、5月末で96件。前年度比26%増と増加傾向にあり、約7割が施錠しておらず、中学生・高校生の被害が多いため、小中学校、一部の高校で啓発を行い、ツーロックの協力を呼び掛けている。

特殊詐欺も5月末で7件発生しており、前年度比プラス2件。犯人が訪宅するケースは減っており、架空料金請求詐欺として、はがき・メール等で誘導しコンビニで電子マネーを購入させる手口が増えている。

(2) 令和5年度の交通防犯の取組事項について

(3) 今年度の取組事項について

・事務局より説明

杉山委員

防犯ステッカーの配布について、具体的に説明してほしい。

事務局

防犯ステッカーについて、昨年度1500枚作成し、区・自主防犯パトロール団体などに配布している。昨年度は400枚ほど配布し、今年度も引き続き各種団体を通じて、広く配布していく。

杉山委員

資料に具体的な配布枚数、配布先を記載してほしい。残りの在庫数もわかり、どのように展開していくかを具体的に検討できる。

中村会長

ステッカーを1500枚作成したので、少しでも早く配布し、広く普及させてほしい。在庫を抱えても防犯の普及に繋がらないため、検討を進めてほしい。

事務局

広く普及させるため、区、自主防犯パトロール団体、交通委員等に配布を進めていきたい。

(加藤委員)

ステッカーの設置先（貼付場所）について教えてほしい。

(事務局)

数年の耐久性がある仕様のため、屋外の玄関先など目立つ箇所に掲示してほしい。

(加藤委員)

分からない方もいるので、ステッカーを貰う市民の方に、掲示先を説明してほしい。自転車の盗難について、施錠されていても盗難にあうケースがあるため、より踏み込んだ対策が必要と感じる。

一時停止で取締りのあった場合、警察官に苦情をいうことがあるが、もっと警察官が目立つところに立って、違反を取り締まるだけでなく、ドライバーに対する意識啓発も考えてほしい。

長谷川委員

交通安全ポスターのデジタルサイネージについて、庁舎内のPRは効果が限定的といえる。企業でも求人募集を大学にかける場合など、大学によって反響が異なるので、市としてもより効果のある取組の検討を進めてほしい。

事務局

庁舎及び巡回バス「こまくる」のデジタルサイネージに動画で掲載することを今年度も予定している。その他の方法も含め、検討していく。

飯田委員

昨年度も同様の報告があった自転車の盗難が多く、増加傾向にある。自転車の盗難が、ひいては大きな犯罪につながる可能性がある。小牧原駅の駐輪場など、整備状況を含めて、置き場所を整理できるとよい。また、報告事項の「今年度の取組事項」にも記載がなく、対策等検討してほしい。

林副会長

自転車の盗難が増えていることについて、大きな課題となっているため、協議会としても検討し、具体策を含め提案することで、市全体として改善されていく可能性がある。協議会がテーマも含め提案し、委員及び事務局で施策、対策を検討することが協議会の意義だと思う。協議事項で自転車盗をテーマにすることで、より発展的な議論に繋がる。

杉山委員

自転車用ヘルメットの購入補助について、補助申請の年代ごとの割合を分析することで、例えば子どもが小さいころから着用することが当たり前になっていけば、将来的に全体の着用率も向上する。子どものヘルメットは、成長とともに買い替えが必要など、課題がみえてくると思うので、データを活用した対策を検討するなど、より普及する取り組みを検討してほしい。

3 その他

- ・ 報告、質疑・意見等特になし

以上